

二択

皆さんはどのように記憶しているのでしょうか?本校を受験した日の事を。様々なドラマがある中で毎年「問題用紙の漢字に読み仮名を振って欲しい」と言う要望があります。言われるまでもなく、本校はそうしていますよね。

大人の対応は二つに分かれます。まずは「中学校3年生なのに、こんな漢字も読めないの!」と言う塩対応。根底には「読めるのが当たり前」と言う思い込みです。立花は「今から読めるようになっていけばよか!」と言う対応です。根底には「読めなくてもいいんだよ」と言う学校の根幹をなす発想を貫いているのです。しかもただ読めない事を容認しているのではなく、少しでも読める可能性を高めるために「読み仮名」を振っているのです。

まさに「できないことを嘆くのではなく、できていることを認めよう」と言う理念です。更に一步深めるならば、「こうあるべきと言う既存の範囲に子ども達を寄せるのではなく、子ども達のできる手段に大人(社会)が寄って行く」と言う考え方です。できるかできないかの二択を迫るのではなく、その両者の中にスモールステップを意識するだけで、格段に子ども達ができることが増えるだけでなく、次のステップにも進みやすくなると思うのです。

できない時は、既にできていることに気付きましょう。そしてできそうな手段を探しましょう。大人の我々は、子どもができない事実を批判するのをやめましょう。彼らの特権は「未成熟であること」なのです。二択ではなく、その中に少しでも選択しを増やしていくのは大人の仕事です。階段の一段が高くて登れない時は、0.5段があれば次に登れるかもしれないのです。

【来週の予定】

日 曜	学年	1	2	3	4	5	6	7
18 (月)	全学年	月①	月②	月③	月④	放課後		
19 (火)	全学年	火①	火②	火③	火④			
20 (水)	全学年	水①	水②	水③	水④			
21 (木)	全学年	木①	木②	木③	木④	事前指導	放課後	
22 (金)	全学年	芸術鑑賞教室						

mamas café 来週の日替わりメニュー

18日 (月)	19日 (火)	20日 (水)	21日 (木)	22日 (金)
アジフライ タルタルソース	坦々麺風うどん	和風ハンバーグ	カレーうどん	竹輪はさみ揚げ

♪今日のイイね♪

さんれんきゅうあ しぶん
三連休明け自分たちのペースでがんばっている
せいと
生徒のみさんに、いいね♥

せんせい
先生の話を一生命、聞く姿がいいね!

7時間目のじゆまにならぬように静かに
放課後を楽しみお姿がいいね!

ちがひ
遅い時間まで、みんなのために走る生徒会、
中央委員のみんなにいいね!

さんれんきゅうあ
三連休明けしんどくて思い切って休む選択をした人もいいね!

何気に掲示してある
「いいね」コーナーの中にも
漢字に読み仮名が振ってあるものが
見受けられます

気付いていましたか?
気付く力は
他人に様々な「配慮」を施せる
思いやりに直結します

自他の違いをバカにするより
配慮しあえた方が
社会に素敵な寛容さが広がるはずですよ